

# 目次

口絵

序

凡例

細目次

第一章 文学……………一

第一節 明治過渡期の文学……………三

一 散文……………四

二 漢詩……………三一

第二節 近代文学の息吹とその継承者……………三六

第三節 モダニズムと女性作家……………一二二

一 モダニズム……………一二三

二 女性作家……………一四九

第四節 探偵小説の出發とその周辺……………一七一

第五節 子供のための文学……………一二三

第六節	戦時下の文学、戦後の文学を生む人たち	二五九
第七節	近代詩の歩み	三〇九
第八節	短歌	三四二
第九節	俳句	三五七
第二章	美術	三六九
第一節	博物館・美術館の歴史	三七一
第二節	美術教育	三九一
第三節	美術活動	四〇三
第四節	陶芸	四五五
一	万国博覧会	四五六
二	陶器学校・陶芸集団	四六二
三	美術展	四七四
第三章	音楽	四八三
第一節	音楽教育	四八五
第二節	音楽会	五〇九
第三節	音楽団体	五五八

第四節 音楽産業	五七九
第五節 放送・新聞等メディアの音楽情報	五八九
第四章 芸能	六〇五
第一節 古典芸能	六〇七
一 能・狂言	六〇八
二 浄瑠璃	六三九
三 歌舞伎	六四九
第二節 茶道、華道	六七〇
一 茶道	六七一
二 華道	七一
第三節 大衆芸能	七一五
第四節 民俗芸能	七四〇
一 尾張万歳	七四一
二 三河万歳	七四八
三 地芝居	七五七

第五章	スポーツ	七七一
第一節	学校教育における課外スポーツ	七七三
第二節	社会におけるスポーツ活動	八一〇
一	オリンピックク	八一一
二	プロスポーツ	八二二
三	一般社会スポーツ	八三二
第三節	武道	八五七
解説		八八九
愛知県近代文学史年表		九四九
あとがき		
資料提供者及び協力者		
愛知県史編さん関係者名簿		

# 細目次

## 第一章 文学

### 第一節 明治過渡期の文学

#### 一 散文

1	大口六兵衛	一八八〇年(明治十三)十二月三日―八日……………	4
2	坪内逍遙 識「自由太刀余波鋭鋒」	一八八四年(明治十七)五月……………	9
3	二葉亭四迷 識「あいびき」	一八八八年(明治二十)七月六日……………	21
4	露葉「残菊」	一八九四年(明治二十七)十一月十五日……………	27
	二 漢詩		
5	鷺津毅堂	一八八〇年(明治十三)七月……………	31
6	森春濤「游妙興寺分落花芳艸為韻得艸字」	一八八一年(明治十四)七月二日……………	32
7	森槐南「雜擬」	一九二二年(明治四十五)三月五日……………	33
8	永井禾原	一九一三年(大正二)十二月……………	33

### 9 服部擔風「名古屋八勝詩」

一九二三年(大正十二)…………… 34

### 第二節 近代文学の息吹とその継承者

10	坪内逍遙	一八八二年(明治十五)十二月二十二日……………	37
11	志賀重昂「參河の花崗石」	一八九四年(明治二十七)十月二十四日……………	38
12	小栗風葉「三日判事」	一八九七年(明治三十)二月一日……………	40
13	渡邊霞亭「名古屋武士」	一九〇二年(明治三十五)十月十五日……………	52
14	二葉亭四迷「巨匠談片」	一九〇七年(明治四十)四月三日……………	58
15	岡本靈華「母と私」	一九〇九年(明治四十二)八月一日……………	59
16	田中仙丈「反抗」	一九一九年(大正八)七月一日……………	69
17	佐々木味津三「つぐみ狩」	一九二四年(大正十三)十月一日……………	75
18	葉山嘉樹「牢獄の半日」	一九二四年(大正十三)十月一日……………	85
19	尾崎士郎「三等郵便局」	一九二六年(大正十五)八月一日……………	96
20	富沢有為男「スフキンス丸から二月二十三日」	一九二九年(昭和四)三月二十七日―二十九日……………	105

21 佐々三雄「家」  
一九四一年(昭和十六)十一月三十日……………108

### 第三節 モダンイズムと女性作家

#### 一 モダンイズム

22 久野豊彦  
一九一九年(大正八)一月……………123

23 牧野吉晴「金玉の話」  
一九二四年(大正十三)六月十五日……………132

24 酒井潔「黒魔術」(上)  
一九二九年(昭和四)十月二十四日……………137

25 阿部知二「古き木に花ひらく時に」  
一九三二年(昭和七)一月一日……………139

二 女性作家

26 加藤籌子「漁夫の母」  
一九一〇年(明治四十三)八月十日……………149

27 市川房枝「記者となりて 生活の断片」  
一九一七年(大正六)十二月二日……………153

28 鯉江もと「検温器」  
一九二一年(大正七)五月一日……………154

29 永瀬清子  
一九二四年(大正十三)十二月二十四日……………160

30 岡田淑子「朝の魔法」  
一九二七年(昭和二)八月十五日……………166

31 矢田津世子「訣別」  
一九三〇年(昭和五)十一月三日……………167

### 第四節 探偵小説の出発とその周辺

32 江戸川乱歩  
一九一〇年(明治四十三)一月……………172

33 小酒井不木「通夜の人々」  
一九二五年(大正十四)七月一日……………181

34 耽綺社同人  
一九二八年(昭和三)七月一日……………203

35 潮山長三「珍説赤穂義士本懐」  
一九二九年(昭和四)一月一日……………206

36 岡戸武平「(不木)先生の余技」  
一九二九年(昭和四)六月一日……………212

37 国枝史郎「新舞子の杜甫」  
一九三〇年(昭和五)一月一日……………214

38 矢留節夫「汽車で生れた奴」  
一九三一年(昭和六)二月二十五日……………224

39 桜田十九郎  
一九三五年(昭和十)四月七日……………229

40 大阪圭吉「ここに家郷あり」の連載第二回目  
一九四二年(昭和十七)四月一日……………229

第五節 子供のための文学

41 亀山半眠「隠れ椅子」  
一九一七年(大正六)一月二十八日……………233

42	春山行夫	一九二一年(大正十一年)三月三日……………	234
43	亀山巖	少年対話「初午の日」 一九三三年(大正十二年)一月一日……………	239
44	佐藤一英「夢の島」	一九三三年(大正十二年)一月六日……………	241
45	森銃三「葛飾北斎」	一九二七年(昭和二年)四月一日……………	241
46	平埜甲策「風のお顔がみたいな。」	一九二八年(昭和三年)六月一日……………	246
47	新美南吉	一九三一年(昭和六年)八月一日……………	246
48	森三郎「一年生」	一九三四年(昭和九年)九月一日……………	254
49	中条雅二	一九三六年(昭和十一年)四月二十九日……………	257

第六節 戦時下の文学、戦後の文学を生む人たち

50	本多顕彰	一九二〇年(大正九年)一月一日……………	260
51	谷川徹三	長田多喜子への自筆書簡 一九三三年(大正十二年)一月八日……………	261
52	藤枝静男	一九二八年(昭和三年)七月八日……………	266
53	平野謙「独白」	一九三〇年(昭和五年)三月一日……………	269
54	丸山静「歴史と伝統」	一九三一年(昭和六年)二月二十五日……………	272
55	杉浦明平	一九三五年(昭和十年)五月……………	273
56	本多秋五	一九三六年(昭和十一年)七月十日……………	287
57	梅原猛「僕の故郷は」	一九三七年(昭和十二年)六月二十五日……………	299
58	茨木のり子「野良犬」	一九四〇年(昭和十五年)三月二十二日……………	301
59	小谷剛「卒業所感」	一九四二年(昭和十七年)四月十日……………	302
60	城山三郎	一九四二年(昭和十七年)頃……………	302
61	久松潜一「雨を待つ心」	一九四四年(昭和十九年)八月十日……………	304
62	木全圓壽「霜」	一九四四年(昭和十九年)九月一日……………	306

第七節 近代詩の歩み

63	原霞外「老婆の嘆き」	一九〇六年(明治三十九年)五月五日……………	310
64	大森花泉「夕顔」	一九〇七年(明治四十一年)八月十八日……………	311
65	高須光治「三輪川の老杉より」	一九一四年(大正三年)二月一日……………	312

66	春山行夫	一九二三年(大正十二)九月十一日……………	313
67	野口米次郎	一九二三年(大正十二)一月二十六日……………	315
68	佐藤一英「夜の時」	一九二三年(大正十二)六月八日……………	317
69	金子光晴	一九二三年(大正十二)七月二十四日……………	318
70	亀山巖「鎮魂歌」	一九二六年(大正十五)二月十三日……………	321
71	斎藤光二郎「嘘と真のマリヤ様 未来より帰納する覚書」	一九二六年(大正十五)二月十三日……………	322
72	近藤東「牡丹抄―或る女の肉体頌歌―」	一九二六年(大正十五)三月十八日……………	322
73	井口蕉花	一九二六年(大正十五)十月十日……………	324
74	石原政明「妹」	一九二六年(大正十五)十月十日……………	325
75	落合茂「或る淋しみ」	一九二六年(大正十五)十月十日……………	326
76	高木斐瑳雄「天道祭は明日からです」	一九二六年(大正十五)十月十日……………	326
77	勝承夫「狂へる歌」	一九二七年(昭和二)七月二十五日……………	327
78	杉浦盛雄	一九二七年(昭和二)七月二十五日……………	329

79	伴野憲「蜜柑を失ふころ」	一九二七年(昭和二)七月二十五日……………	330
80	浅野広「華かな詩人の散歩」	一九二八年(昭和三)一月一日……………	331
81	西尾紅二「十字街頭に散る」	一九二八年(昭和三)七月十五日……………	331
82	野々部逸二「月夜の蟻」	一九二八年(昭和三)七月十五日……………	332
83	町井猛「仮装舞踏会I」	一九二九年(昭和四)十一月十四日……………	332
84	榊原矧(内藤信吉)「二月の詩」	一九三一年(昭和六)五月一日……………	333
85	丸山薫「帆・ランプ・鷗」	一九三二年(昭和七)十二月五日……………	334
86	坂野草史「朝」	一九三四年(昭和九)三月一日……………	335
87	杉本駿彦「海の門」	一九三四年(昭和九)三月一日……………	335
88	伊藤正斎「朝」	一九三四年(昭和九)六月一日……………	336
89	岩瀬正雄「花」	一九三五年(昭和十)三月二十五日……………	337
90	山中散生	一九三八年(昭和十三)十一月一日……………	339
91	山本悍右「風のない島」	一九三九年(昭和十四)十月二十日……………	340



92	丹羽莊一「月の出」	一九四一年(昭和十六)一月二十五日……………	340
第八節 短歌			
93	尾崎楓水	一九〇八年(明治四十)三月十五日……………	343
94	原田琴子「常少女」	一九二二年(明治四十五)一月二十五日……………	344
95	間島冬道	一九一九年(大正八)十一月三十日……………	345
96	大口鯛二「大口鯛二集」	一九三〇年(昭和五)七月二十五日……………	346
97	依田秋圃「山野」	一九三〇年(昭和五)九月十五日……………	347
98	浅野保	一九三〇年(昭和五)十二月一日……………	348
99	春日井瀆	一九三二年(昭和六)三月一日……………	349
100	浅野梨郷「梨郷歌集」	一九三一年(昭和六)七月一日……………	350
101	石井直三郎「青樹」	一九三一年(昭和六)十月十七日……………	351
102	御津磯夫「西海荘にて」	一九三四年(昭和九)五月一日……………	353
103	松田常憲「秋風抄」	一九三七年(昭和十二)一月一日……………	353

104	加藤将之「合宿半歳」	一九四一年(昭和十六)一月十五日……………	355
105	熊谷武至「抒情点綴」	一九四二年(昭和十七)五月五日……………	356
第九節 俳句			
106	沼波瓊音「瓊音句集」	一九一三年(大正二)五月十五日……………	358
107	鈴木花蓑「ホトトギス」	一九一五年(大正四)八月一日……………	358
108	久野穠鶴「鶴稀集」	一九一七年(大正六)……………	359
109	石田元季・木下李太郎・小酒井不木「連句(歌仙三卷)」	一九二六年(大正十五)九月二十七日……………	360
110	富田うしほ「うしほ句集」	一九三三年(昭和八)八月一日……………	361
111	富安風生	一九三三年(昭和八)十一月十日……………	362
112	織田鳥不関「鳥不関句集」	一九三五年(昭和十)二月五日……………	363
113	浅井意外「還曆前後」	一九三六年(昭和十)十一月二十五日……………	364
114	山田麗眺子	一九三九年(昭和十四)四月一日……………	365
115	岡田歌陽「汐木」	一九三九年(昭和十四)十月八日……………	366

126	愛知県商品陳列館で開催された第一回愛美社展出品目録 一九一九年(大正八)三月二十一日……………	381
125	愛知県商品陳列館の改正規則 一九一七年(大正七)二月二十八日……………	379
124	愛知県博物館から愛知県商品陳列館に至る沿革 一九一一年(明治四十四)四月二十九日……………	378
123	新たに開館する愛知県商品陳列館の概要 一九一〇年(明治四十三)七月一日……………	377
122	徳川家による図書館兼美術館設立の動き 一九一〇年(明治四十三)六月二十八日……………	376
121	愛知県博物館が愛知県商品陳列館と改称 一九一〇年(明治四十三)四月十六日……………	376
120	愛知県博物館開館規則 一八八八年(明治二十)三月二十九日……………	374
119	愛知県博物館を会場にした展覧会 一八七八年(明治十二)九月十七日……………	372

## 第二章 美術

### 第一節 博物館・美術館の歴史

138	東海少年美術院の設立及び野外写生会 一九二二年(大正十二)十一月五日……………	398
137	洋画研究場新設 一九一〇年(明治四十三)一月十一日……………	397
136	鳳声画会の設立及び規定 一九〇九年(明治四十二)十月八日……………	396
135	中等教育諸学校における美術教員の配置 一九〇四年(明治三十七)一月二十四日……………	393
134	愛知県立工業学校図案科課程の学科配当表 一九〇一年(明治三十四)九月十六日……………	392
133	松坂屋で開催されたナゴヤアバンガルド第一回展出品目録 一九三八年(昭和十三)六月十六日……………	389
132	豊橋洋画協会第六回作品展 一九三三年(昭和八)十一月一日……………	388
131	名古屋市鶴舞公園美術館での展覧会 一九三二年(昭和七)四月二十一日……………	387
130	財団法人尾張徳川黎明会設立趣意書 一九三一年(昭和六)十二月三日……………	386
129	岡崎美術展覧会の招待状 一九二五年(大正十四)十月……………	385
128	伊藤銀行で開催された第二回愛知社展出品目録 一九二三年(大正十二)四月一日……………	383
127	愛知県商品陳列館が愛知県商品陳列所と改称 一九二一年(大正十)八月二日……………	383

### 第二節 美術教育

150	愛知社第二回美術展及び白鳥社画展の展評 一九二三年(大正十二)四月三日……………	418
149	東海七州美術展及び第三回愛美社展 一九二一年(大正十)三月二十一日……………	417
148	ロシア未来派画家の展覧会 一九二〇年(大正九)十月十五日……………	415
147	愛知社展評 一九一九年(大正八)三月二十一日……………	412
146	十一屋呉服店で開催された中京洋画会 一九一八年(大正七)九月十六日……………	411
145	第一〇回東海美術展覧会発会 一九一八年(大正七)五月十二日……………	410
144	全国絵画展覧会の開催 一九二二年(明治四十五)五月二十二日……………	408
143	東海美術協会と愛山会絵画部 一九一一年(明治四十四)四月二十三日……………	406
142	明治四十三年に新築した愛知県商品陳列館での展覧会 一九一〇年(明治四十三)三月十六日……………	404
141	愛知県図画教育研究会による洋画の講習会 一九三二年(昭和七)三月三十一日……………	402

第三節 美術活動

163	女性作家の活躍 一九三〇年(昭和五)四月十日……………	436
162	名古屋市民美術展の開催 一九二九年(昭和四)十一月一日……………	434
161	愛知社第四回美術展覧会の開催 一九二八年(昭和三)七月一日……………	432
160	第二回フォーヴ美術展 一九二八年(昭和三)三月十八日……………	432
159	新ロシア美術展覧会の開催 一九二七年(昭和二)七月三日……………	431
158	愛知社第三回美術展の開催 一九二七年(昭和二)七月一日……………	430
157	試作社の規定 一九二五年(大正十四)六月二十五日……………	429
156	第一回中部日本画展の開催 一九二五年(大正十四)六月二十日……………	427
155	名古屋での春陽会展開催 一九二五年(大正十四)五月十六日……………	425
154	サンサシオン第三回美術展覧会の開催 一九二五年(大正十四)四月三日……………	425
153	白鳥社の解散と中京美術院の創立 一九二四年(大正十三)五月十一日……………	424
152	愛土社第三回展覧会の開催 一九二四年(大正十三)四月十一日……………	424
151	光風会美術展覧会の開催 一九二四年(大正十三)三月八日……………	421

139 野崎華年が絵画図案研究所を設立  
一九二三年(大正十二)四月二日…………… 399

140 名古屋洋画研究所主の鈴木不知の業績  
一九二四年(大正十三)十月十五日…………… 399

175	174	173	172	171	170	169	168	167	166	165	164
パリ万国博覧会臨時博覧会事務局の報告書 一九〇二年(明治三十五)三月三十日……………	パリ万国博覧会事務局からの出品に関する通牒 一八九八年(明治三十)二月七日……………	パリ万国博覧会への出品概目録 一八九七年(明治三十)十二月二十七日……………	七宝焼林小傳治の履歴書 一八九六年(明治二十九)十二月三十一日……………	戦時下における東海地区文化協議会の開催 一九四三年(昭和十八)八月十八日……………	第一回名古屋総合芸術展の開催 一九四二年(昭和十七)十一月六日……………	名古屋汎太平洋平和博覧会 一九三七年(昭和十二)四月五日……………	豊橋洋画協会会員による陳情書 一九三五年(昭和十)三月二十五日……………	加茂時報社主催孝母町での絵画展覧会 一九三一年(昭和六)十一月二十三日……………	二科展の出品目録 一九三一年(昭和六)十月十日……………	次々に開催される展覧会 一九三一年(昭和六)三月五日……………	伊藤廉が名古屋で独立展を開催 一九三一年(昭和六)三月四日……………
459	458	457	456	452	451	447	447	446	439	438	438

第四節 陶芸

一 万国博覧会

二 陶器学校・陶芸集団

187	186	185	184	183	182	181	180	179	178	177	176
愛知県展の工芸について語る藤井達吉 一九三〇年(昭和五)十月三十日―十一月一日……………	名古屋市民美術展 一九三〇年(昭和五)九月十九日……………	帝展第九回美術工芸部に入選した加藤菁山と矢野陶々 一九二八年(昭和三)十月十二日……………	加藤土師蒨の帝展への入選 一九二七年(昭和二)十月十一日……………	常滑陶器学校の展覧会 一九三二年(昭和七)十一月二十五日……………	常滑陶友会の役員 一九二七年(昭和二)十一月一日……………	瀬戸図案研究会による瀬戸図案集の目次 一九一八年(大正七)二月二十日……………	瀬戸図案研究会の規約 一九一四年(大正三)頃五月十一日……………	瀬戸陶器学校の沿革 一九〇八年(明治四十二)十二月……………	常滑工業補習学校設立申請書 一八九五年(明治二十八)十二月二十日……………	遠安工業補習学校の設置 一八九四年(明治二十七)五月三十日……………	常滑美術研究所規則書 一八八六年(明治十九)十月二十二日……………
477	476	475	474	472	472	470	468	466	464	463	462

三 美術展

198	197	196	195	194	193	192	191	190	189		188
中区松ヶ枝小学校のピアノ披露 一九二二年(大正十二)六月十一日	海部郡音楽会 一九二〇年(大正九)七月一日	名古屋市の児童音楽会 一九一九年(大正八)八月一日	津島高等女学校の地久節奉祝音楽会 一九一八年(大正七)十二月十八日	音楽教師の三部合唱披露 一九一八年(大正七)十二月一日	創立第十周年記念音楽会 一九一四年(大正三)十二月三十日	高等女学校におけるピアノの購入 一九一二年(明治四十五)六月一日	愛知県立高等女学校における音楽会 一九〇八年(明治四十二)七月二十七日	中学校教則大綱 一八八一年(明治十四)八月十六日	伊沢修二の唱歌遊戯 一八七五年(明治八)二月二十六日	第一節 音楽教育	加藤唐九郎が帝展の工芸部に入選 一九三一年(昭和六)十月十一日
494	494	493	491	491	489	489	487	487	486		481

212	211	210	209	208	207	206	205	204	203	202	201	200	199
小学校におけるヴァイオリンの受容 一九二九年(昭和四)九月十二日	小学校用の唱歌帳を統一 一九二九年(昭和四)六月十九日	御器所町小針尋常小学校の音楽教育 一九二八年(昭和三)二月二日	女学校の庭球部にピアノが贈られる 一九二五年(大正十四)十二月二十日	葉栗郡黒田小学校のピアノ披露 一九二五年(大正十四)三月四日	音楽教師による演奏会 一九二四年(大正十三)十二月十七日	愛知県第一高等女学校の音楽会(第一回) 一九二四年(大正十三)十二月十三日	金城女学校の音楽 一九二四年(大正十三)十月二十二日	海部郡佐屋小学校のピアノ披露 一九二四年(大正十三)七月十日	愛知県第一高等女学校大正十一年の音楽会 一九二二年(大正十一)十二月二十四日	知多郡教育研究会 一九二二年(大正十一)十二月十九日	名古屋市小学校聯合教育研究会 一九二二年(大正十一)十一月十日	中区白川小学校のピアノ披露 一九二二年(大正十一)十月二十七日	名古屋市新小学校演奏会 一九二二年(大正十一)十月二十二日
504	503	502	501	501	500	500	499	498	497	496	496	495	495

### 第三章 音楽

#### 第一節 音楽教育

224	山田耕柞指揮による管絃楽演奏会の広告 一九二三年(大正十二)四月二十五日……………	519
223	ホルマンのチェロ演奏会 一九二三年(大正十二)四月二十二日……………	518
222	ゴドウスキーの演奏会 一九二三年(大正十二)四月十四日……………	518
221	久野久子の送別演奏会 一九二三年(大正十二)二月二十八日……………	517
220	カリフォルニアヤグリークラブによる音楽会 一九二二年(大正十一)六月十三日……………	516
219	名古屋市教育委員会による音楽会 一九二一年(大正十)十月五日……………	515
218	名古屋市併合の祝歌 一九二一年(大正十)八月二十九日……………	514
217	女学校聯合音楽会と中京婦人音楽会 一九二〇年(大正九)二月九日……………	511
216	愛知県商品陳列館でのシコーラのチェロ演奏会 一九一八年(大正七)十月二十二日……………	510
215	宝塚少女歌劇団の名古屋での初演 一九一八年(大正七)八月十五日……………	510
214	高等女学校の音楽会のプログラム 一九三三年(昭和八)七月二十日……………	506
213	正課となった唱歌 一九三一年(昭和六)一月二十九日……………	505

第二節 音楽会

237	テイボウのヴァイオリン演奏会 一九二八年(昭和三)六月五日……………	530
236	山東出兵義捐音楽会 一九二八年(昭和三)五月三十一日……………	529
235	太平洋横断飛行義捐大音楽会 一九二八年(昭和三)五月六日……………	529
234	カヴァリヨフのピアノ演奏会 一九二七年(昭和二)十月十三日……………	528
233	ベートーベン百年祭の記念音楽会 一九二七年(昭和二)九月二十日……………	527
232	中京音楽会主催の記念演奏会 一九二六年(大正十五)六月二十三日……………	526
231	ボリスラックのヴァイオリン独奏会 一九二六年(大正十五)六月十一日……………	526
230	名古屋青年同好芸術協会の発会記念音楽会 一九二六年(大正十五)二月九日……………	525
229	ロンコニーの独唱会 一九二六年(大正十五)二月六日……………	524
228	同声会主催第一回音楽演奏会 一九二四年(大正十三)十二月十三日……………	524
227	ブレミスラフ夫妻の演奏会 一九二四年(大正十三)十月十五日……………	523
226	ハイドンカルテットを中心とした演奏会 一九二三年(大正十二)十二月六日……………	521
225	私立中等学校救恤義捐音楽会 一九二三年(大正十二)十月二十四日……………	520

250	指揮者近衛秀麿の帰朝演奏会 一九三一年(昭和六)四月七日……………	539
249	声楽家バットの独唱会 一九三一年(昭和六)二月八日……………	538
248	大名古屋行進曲のレコーディング 一九三一年(昭和六)一月二十八日……………	537
247	ジムバリストのヴァイオリン演奏会 一九三〇年(昭和五)十月十四日……………	537
246	名古屋音楽協会による新交響楽団の結成 一九三〇年(昭和五)四月九日……………	536
245	方面事業助成和洋大音楽会プログラム 一九二九年(昭和四)十二月二十三日……………	536
244	藤原義江の送別独唱会 一九二九年(昭和四)十一月二十九日……………	535
243	シロタのピアノ独奏会 一九二九年(昭和四)十一月二十三日……………	534
242	ハイドンカルテットの来名演奏会 一九二九年(昭和四)八月二十一日……………	534
241	山田耕柝の作品発表演奏会 一九二九年(昭和四)四月二十七日……………	533
240	カーピイタリア大歌劇団の上演 一九二九年(昭和四)三月二十八日……………	532
239	鈴木カルテットの演奏会 一九二八年(昭和三)十月二十五日……………	531
238	名古屋音楽協会の音楽会 一九二八年(昭和三)十月十七日……………	531

262	第三師団軍楽隊の演奏に驚いたロシア人 一九一九年(大正八)五月十日……………	560
261	軍楽隊征地へ 一九一八年(大正七)十二月二十八日……………	560
260	名古屋鶴舞公園音楽会 一九一五年(大正四)八月一日……………	560
259	ドイツ俘虜収容所での少年音楽隊の演奏 一九一四年(大正三)十一月二十八日……………	559
258	軍楽隊新設 一九一二年(明治四十五)七月一日……………	559
257	いとう呉服店の少年音楽隊員募集の広告 一九一一年(明治四十四)三月七日……………	559
第三節 音楽団体		
256	軍用機献納金挹集のための音楽会 一九四四年(昭和十九)五月二十日……………	555
255	名古屋音楽協会の演奏会記録 一九四〇年(昭和十五)三月九日……………	543
254	名古屋宝塚劇場の開場 一九三五年(昭和十)十二月一日……………	542
253	シゲツテイのヴァイオリン演奏会 一九三二年(昭和六)六月二日……………	541
252	災害義捐のための音楽会 一九三一年(昭和六)五月三十一日……………	540
251	クロイツァーのピアノ独奏会 一九三一年(昭和六)五月十三日……………	539

274	第四節 音楽産業	鈴木政吉のバリ万国博覧会出品概目録 一八九七年(明治三十)十月二十日……………	580
273	名古屋音楽協会の規則と役員 一九四〇年(昭和十五)三月九日……………	575	
272	第八高等学校グリーククラブの第一回発表会 一九三六年(昭和十一)十二月五日……………	573	
271	松坂屋内洋楽研究交響楽団による山田耕筰帰朝歓迎演奏会 一九三一年(昭和六)十一月六日……………	573	
270	名古屋音楽協会の第二回演奏会 一九三〇年(昭和五)五月二十一日……………	572	
269	名古屋音楽協会の経緯 一九三〇年(昭和五)一月十四日……………	570	
268	戸山学校軍楽隊各地で演奏 一九二七年(昭和二)十一月九日……………	570	
267	名古屋高等商業学校のマンドリンクラブ 一九二七年(昭和二)七月二十日……………	568	
266	名古屋シンホーオーケストラの発足 一九二六年(大正十五)三月三十日……………	567	
265	戸山学校軍楽隊の名古屋での演奏会 一九二四年(大正十三)四月二日……………	566	
264	第三師団軍楽隊送別演奏会 一九二二年(大正十一)五月十日……………	564	
263	第三師団軍楽隊の演奏記事 一九二〇年(大正九)九月一日……………	561	

286	第五節 放送・新聞等メディアの音楽情報	泉教育会で蓄音器購入 一九二三年(大正十二)二月十日……………	590
285	名古屋市内の小学校における蓄音器の普及 一九二二年(大正十一)十二月二十一日……………	590	
284	鈴木カルテットによる第二回演奏会 一九二八年(昭和三)十二月四日……………	588	
283	ヤマトピアノの広告 一九二八年(昭和三)十一月十日……………	587	
282	愛楽会音楽教授所の開設 一九二八年(昭和三)六月六日……………	587	
281	鈴木バイオリンの明治節での表彰 一九二七年(昭和二)十月二十七日……………	586	
280	鈴木鎮一の帰朝披露ヴァイオリン演奏会 一九二五年(大正十四)十月十四日……………	584	
279	鈴木バイオリンの表彰状 一九二二年(大正十一)四月二十九日……………	584	
278	鈴木政吉に対する高い評価 一九一八年(大正七)十月十四日……………	583	
277	大正琴に対する高い評価 一九一四年(大正三)十一月二十二日……………	582	
276	大正琴の登録実用新案 一九一二年(大正元)十二月十二日……………	581	
275	大正琴が発売された当初の広告 一九一二年(大正元)十月十七日……………	580	



296	「愛知県人物誌」の凡例・目次・能楽関係者 一八七八年(明治十二)十月……………	611
295	豊橋魚町の能狂言番組 一八七六年(明治九)五月八日……………	608
	一 能・狂言	
	第一節 古典芸能	
	第四章 芸能	
294	名古屋放送局沿革史 一九四〇年(昭和十五)八月三十日……………	595
293	鶴舞公園奏樂堂でのレコード鑑賞会 一九三一年(昭和六)七月三日……………	595
292	カシケイの名曲演奏会 一九三〇年(昭和五)十月十七日……………	594
291	ビクターレコード部主催の演奏会 一九三〇年(昭和五)二月十三日……………	593
290	名古屋放送局の番組 一九二八年(昭和三)十月一日……………	592
289	内親王の生誕を祝う放送 一九二七年(昭和二)九月十一日……………	592
288	新聞社の後援による新人披露音楽会 一九二七年(昭和二)四月六日……………	592
287	名古屋放送局の女子アナウンサーが決定 一九二六年(大正十五)十月一日……………	591

309	岡崎観世会の能組と役割表 一九一六年(大正五)十二月三日……………	623
308	参陽新報主催の謡曲会への招待状 一九一四年(大正三)八月……………	623
307	明治四年大阪から古春増五郎を招いた大野藤五郎宅舞台能組 一九一二年(大正元)九月二十五日……………	622
306	古春舞台番組及び舞台開き挨拶文 一九一二年(大正元)八月……………	620
305	明治六年七月吾妻能番組 一九一二年(大正元)八月……………	618
304	呉服町の能楽倶楽部舞台開き 一九〇九年(明治四十二)十一月十日……………	617
303	明治六年吾妻能に関する懐古記事 一九〇八年(明治四十)二月九日……………	617
302	宝生流古春増五郎の紹介記事 一九〇八年(明治四十)一月二十九日……………	616
301	那古野神社の能舞台開き 一九〇〇年(明治三十三)四月三日……………	616
300	愛知県博物館の舞台開きの番組 一八九四年(明治二十七)六月七日……………	615
299	金春八左衛門墓碑銘 一八九一年(明治二十四)七月三十日……………	615
298	寺田左門治上京 一八八五年(明治十八)十月二十八日……………	614
297	古春が大阪に行ったあとの保能会 一八八四年(明治十七)九月二十五日……………	614

310	三河鉄道八橋駅開設記念の素謡大会 一九二一年(大正十)四月……………	624
311	新城高等女学校における能楽会 一九二九年(昭和四)十一月十二日……………	626
312	名古屋市公会堂舞台開き能組 一九三〇年(昭和五)十一月二十一日……………	627
313	名古屋能楽堂建築工事概要 一九三一年(昭和六)四月……………	628
314	名古屋能楽堂舞台開き 一九三一年(昭和六)四月二十五日……………	632
315	明治二十四年狂言共同社結成前後の名古屋狂言界 一九四四年(昭和十九)五月十日……………	633
	二 浄瑠璃	
316	名古屋玉沢屋版常磐津節正本 一八七四年(明治七)一月……………	634
317	小栗判官・本陣入小萩説話段 一九二六年(大正十五)五月二十二日……………	636
318	中京人形近松会の記録及び規約 一九三一年(昭和六)七月……………	643
	三 歌舞伎	
319	古袖町芝居開場の許可の通達 明治三年(一八七〇)七月……………	649
320	古袖町常芝居の開場番組 明治三年(一八七〇)十月十七日……………	651

321	在地役者(丹羽郡南山名村在)中村七賀十郎の芝居巡業 にかかわる書簡 一八八三年(明治十六)一……………	654
322	御園座の開場 一八九七年(明治三十)五月十三日……………	663
323	名古屋在の役者市川百十郎関係資料 一九二〇年(大正九)四月十六日……………	667
	第二節 茶道、華道	
	一 茶道	
324	玄々斎精中宗室筆「茶道ノ源意」 明治五年(一八七二)……………	671
325	名古屋の賀筵 一九一四年(大正三)一月一日……………	671
326	明日庵での利休忌 一九一四年(大正三)六月十九日……………	674
327	大正四年十月の猿面茶席での茶会 一九一五年(大正四)十月十二日……………	675
328	名古屋の精中忌 一九一六年(大正五)八月二十二日……………	678
329	名古屋市における遙拜式 一九一六年(大正五)九月……………	679
330	村瀬玄中翁の追悼茶会 一九二〇年(大正九)十月十日……………	680
331	益田鈍翁の名古屋茶会記録 一九二三年(大正十二)十月六日……………	681

343	名古屋における華道流名家元録 一九三五年(昭和十)一月二十五日……………	711
342	二 華道 戦時中の三傑茶会 一九四〇年(昭和十五)五月十五日……………	708
341	松尾流の機関雑誌『松蔭』発刊 一九三九年(昭和十四)九月十五日……………	707
340	日置神社での献茶 一九三八年(昭和十三)十一月五日……………	705
339	高橋箒庵を偲ぶ追善茶会 一九三八年(昭和十三)五月五日……………	703
338	三傑茶会 一九三六年(昭和十一)十一月二十五日……………	701
337	猿面茶席における茶会及び志野流頑魯庵宗匠追善会の記 一九三五年(昭和十)十二月二十五日……………	698
336	名古屋の表千家流茶道教授諸氏稽古日 一九三五年(昭和十)十二月二十五日……………	697
335	鶴舞公園に移築した猿面茶席 一九三三年(昭和八)十一月……………	697
334	揚輝荘での茶会 一九三二年(昭和七)六月七日……………	695
333	孤庵の席開き 一九三二年(昭和七)五月一日……………	692
332	高等女学校への茶道の広がり 一九三〇年(昭和五)十二月二十五日……………	691

### 第三節 大衆芸能

344	末広座の「写真幻灯蓄動機」 一八九七年(明治三十)三月二日……………	716
345	新守座の「自動幻灯」 一八九七年(明治三十)四月十三日……………	716
346	常設活動写真館文明館の広告 一九〇八年(明治四十二)一月二十五日……………	717
347	豊橋文明館の活動写真 一九一二年(明治四十五)六月十六日……………	717
348	活動写真取締規則 一九一五年(大正四)九月八日……………	717
349	豊橋の錦正館開館式 一九二一年(大正十)六月二十三日……………	719
350	皇太子渡欧を記録した映画会 一九二一年(大正十)七月二十四日……………	719
351	帝国館の新築落成広告 一九二一年(大正十)九月十二日……………	720
352	活動写真真展の開催 一九二二年(大正十一)四月十五日……………	721
353	千歳劇場の主要映画目録 一九二二年(大正十一)十二月五日……………	722
354	関東大震災を記録した映画会 一九二三年(大正十二)十月三日……………	723
355	アメリカ映画排斥の動き 一九二四年(大正十三)七月十三日……………	723
356	『中京映画年鑑』創刊 一九二五年(大正十四)七月十八日……………	725

369	盧溝橋事件記念日の映画興行 一九三九年(昭和十四)八月一日……………	733
368	名古屋に映画館が五館開場 一九三九年(昭和十四)八月一日……………	732
367	昭和十三年の映画界総括 一九三八年(昭和十三年)十二月十日……………	731
366	ニュース映画の隆盛 一九三七年(昭和十二年)十二月一日……………	730
365	中国東北部への農業移民を奨励する映画会 一九三七年(昭和十二年)九月一日……………	729
364	師崎町での社会教育映画会 一九三四年(昭和九年)十二月十五日……………	729
363	師崎町での映画会 一九三四年(昭和九年)九月十五日……………	728
362	犬山在郷軍人会の映画会 一九三三年(昭和八年)一月二十五日……………	728
361	高等女学校の映画部設立 一九三一年(昭和六年)十二月二十五日……………	728
360	新聞社主催の「映画と舞踊の夕」 一九三一年(昭和六年)三月十五日……………	727
359	名古屋放送局放送所新設記念の映画会 一九三〇年(昭和五年)一月十三日……………	726
358	教育映画館キネマパワールの開館 一九二九年(昭和四年)十二月二十九日……………	726
357	マキノ映画撮影所の名古屋進出 一九二七年(昭和二年)二月一日……………	726

379	三河万歳の廻勤の記録 明治期……………	748
378	新春ラジオ番組での放送用台本「延暦寺縁起」 一九三一年(昭和六年)十二月……………	745
377	万歳楽の巡業記録 一九一九年(大正八)一月十一日……………	743
376	尾張万歳「毓美団一行」の契約及び団則証 一九二二年(大正元)……………	741
375	尾張万歳の由緒 明治初期か……………	741
第四節 民俗芸能		
374	戦争末期における中等学校巡回映画の推移 一九四四年(昭和十九)五月二十三日……………	736
373	尾北新聞社映画班の巡業 一九四〇年(昭和十五年)九月二十二日……………	735
372	映画法施行細則 一九四〇年(昭和十五年)六月十三日……………	734
371	海外への移民を奨励する映画会 一九四〇年(昭和十五年)四月十五日……………	733
370	映画法施行の影響 一九三九年(昭和十四)十二月一日……………	733

392	小原歌舞伎の台本「天然」故事日本風俗釈迦八相記」 一九〇二年(明治三十五年)一月……………	757
391	遊芸稼人の証明書 一九三九年(昭和十四)十二月三十日……………	756
390	坂部太夫の御初穂日記帳 一九二八年(昭和三)一月……………	755
389	万歳順廻代理の委任状 一九〇三年(明治三十六)十二月五日……………	755
388	神道職となった三河万歳師 一八九九年(明治三十二)……………	754
387	万歳曲「鶴亀」 一八九三年(明治二十六)一月十八日……………	754
386	能楽修行のためとして諸県下を順廻 一八八三年(明治十六)一月……………	754
385	万歳廻勤についての県への伺いと回答 一八八二年(明治十五)十一月十三日―十二月……………	753
384	岐阜警察署へ万歳興行の申請書 一八八二年(明治十五)三月十八日……………	752
383	三河万歳の職札 一八七三年(明治六)十二月……………	752
382	万歳廻勤の許可 一八七三年(明治六)十一月……………	752
381	藩庁に提出した万歳御祝儀の届 明治四年(一八七二)四月……………	749
380	土御門家の最後の職札 明治三年(一八七〇)一月一日……………	749

403	越原和校長の女子野球奨励 一九一九年(大正八)六月一日……………	785
402	女子野球大会の記事 一九一八年(大正七)六月四日……………	784
401	愛知県第二師範学校大運動会の雑誌 一九一一年(明治四十四)十一月五日……………	782
400	第八高等学校校友会規則及び運動奨励の方針 一九一〇年(明治四十三)一月二十日……………	780
399	東海五県聯合野球大会の規則 一九〇七年(明治四十)八月七日……………	778
398	日比野寛校長のスポーツ観 一九〇五年(明治三十八)一月二十日……………	777
397	愛知県第三中学校の運動会記録 一九〇一年(明治三十四)……………	775
396	愛知県第二中学校の秋季大運動会 一九〇〇年(明治三十三)四月十五日……………	774
395	竹本辰美太夫の床及び上演記録 一九三一年(昭和六)八月九日……………	769
394	小原万人講役者の記念碑 一九一九年(大正八)十一月……………	766
393	小原歌舞伎の芝居台本抜書帳「勢理符」 一九一五年(大正四)一月……………	763

第五章 スポーツ

第一節 学校教育における課外スポーツ

417	416	415	414	413	412	411	410	409	408	407	406	405	404
実業教育五十周年記念愛知県大会 一九三四年(昭和九)十二月……………	刈谷中学校蹴球部の記録 一九三四年(昭和九)七月……………	豊橋中学校の硬式庭球選手権大会出場記 一九三二年(昭和七)三月四日……………	鳴海球場でのラグビー試合 一九三一年(昭和六)十二月二十一日……………	明治神宮競技大会での優勝記録 一九二九年(昭和四)十二月二十三日……………	第三回全国中等学校野球大会の優勝秘話 一九二九年(昭和四)七月二十五日……………	少年野球リーグ戦 一九二九年(昭和四)五月十日……………	全国中等学校名古屋野球大会 一九二八年(昭和三)八月九日……………	明倫中学校校友会取支決算 一九二八年(昭和三)……………	全三河オリンピック大会出場記 一九二五年(大正十四)二月二十八日……………	第一回全国選抜野球大会の開催 一九二四年(大正十三)四月二日……………	小林清作校長の女子運動論 一九二三年(大正十二)十二月二十五日……………	運動服と録巻 一九二二年(大正十一)十二月……………	八高の選手制度導入と対抗戦開始 一九二二年(大正十一)七月十日……………
801	800	799	798	796	795	794	794	793	792	792	790	788	786

429	428	427	426	425	424	423	第二節 社会におけるスポーツ活動		422	421	420	419	418
渡辺すみ子が日本新記録 一九三三年(昭和八)七月三十一日……………	東海選手権競泳で日本新記録 一九三三年(昭和八)七月三十一日……………	日本女子オリンピック大会 一九三三年(昭和八)七月二十九日……………	日本女子初のオリンピック水泳 一九三二年(昭和七)十二月二十三日……………	第一〇回オリンピックで清川正二が金メダル獲得 一九三二年(昭和七)九月十二日……………	小学校時代の前畑秀子 一九二九年(昭和四)十二月二十一日……………	金栗四三のオリンピック競技の話 一九一四年(大正三)二月二十五日……………	一 オリンピック		県政調査会による野球排撃決議 一九四三年(昭和十八)二月二十二日……………	第八高等学校報国団規則 一九四二年(昭和十七)十月一日……………	中部日本中等選抜バスケットボール大会の開催 一九三六年(昭和十)二月十四日……………	八高対四高戦の終焉 一九三六年(昭和十)一月十九日……………	四高対八高の対校競技日割 一九三五年(昭和十)七月一日……………
817	816	815	814	813	812	811			808	806	805	804	803

441	中部日本職業拳闘大会 一九三六年(昭和十一年)二月十四日……………	829
440	日本最初の職業野球大会 一九三六年(昭和十一年)一月二十八日……………	829
439	名古屋軍の誕生 一九三六年(昭和十一年)一月十三日……………	827
438	金鯢軍の誕生 一九三六年(昭和十一年)一月九日……………	826
437	和合ゴルフ場開場 一九二九年(昭和四年)九月十六日……………	826
436	名古屋国技館の閉館 一九二四年(大正十三年)十月十五日……………	825
435	東京相撲協会の名古屋興行 一九三三年(大正十二年)十月二十一日……………	825
434	大阪大相撲名古屋場所 一九一八年(大正七年)六月二十四日……………	824
433	名古屋国技館の開館 一九一四年(大正三年)二月三日……………	822
432	前畑秀子の引退と結婚 一九三六年(昭和十一年)十二月二十三日……………	821

二 プロスポーツ

442	関西大相撲名古屋場所 一九三六年(昭和十一年)二月二十六日……………	830
443	戦中の名古屋場所千秋楽 一九四三年(昭和十八年)三月二十三日……………	831
444	日本野球報国会における産業軍 一九四四年(昭和十九年)三月二十五日……………	831
445	中島郡の旗取運動会 一九一八年(明治十九年)五月二十日……………	832
446	端艇競漕会の景況 一九一八年(明治十九年)十一月十七日……………	833
447	松田正典の「体育会設立ノ私見」 一九一八年(明治二十二年)十二月二十五日……………	833
448	津島町青年会運動会 一九一八年(大正七年)五月十三日……………	835
449	市民体育競技大会 一九二二年(大正十一年)十一月五日……………	835
450	林正雄の球技及びスキーの紹介 一九二三年(大正十二年)十月一日……………	837
451	名古屋体育協会設立 一九二三年(大正十二年)十月十四日……………	838
452	運動のデモクラシー 一九二五年(大正十四年)二月二十八日……………	840
453	大日本排球協会東海支部の設立 一九二九年(昭和四年)五月十日……………	842

三 一般社会スポーツ

465	第三節 武道	464	463	462	461	460	459	458	457	456	455	454
	学校と撃剣―西尾尋常高等小学校付設尚武館規約―	健民運動実施ニ関スル件依命通牒	五井山落葉スキー場	第二回日本厚生大会	全国女子卓球大会開催	内海サンドスキー場の開場式及び競技会	愛知県体育協会趣意書及び規約	全日本アマチュア選抜拳闘大会	明治神宮大会記事	安城町青年団運動会	挙母町におけるインテリゲンチヤ庭球大会	スポーツ映画大会
	一八九四年(明治二十七年)頃……………	一九四三年(昭和十八)四月二十二日……………	一九四二年(昭和十七)十二月一日……………	一九四〇年(昭和十五)八月二十五日……………	一九三六年(昭和十二)一月二十六日……………	一九三二年(昭和七)六月四日……………	一九三二年(昭和七)一月一日……………	一九三一年(昭和六)十二月二十一日……………	一九三一年(昭和六)十一月一日……………	一九三〇年(昭和五)八月十一日……………	一九三〇年(昭和五)七月二十一日……………	一九二九年(昭和四)九月十七日……………
858		855	855	852	852	851	848	847	846	844	843	843

475	昭和五年竣工安城武徳殿	474	473	472	471	470	469	468	467	466
	愛知県各市郡青年団聯合剣道大会規程	大日本武徳会愛知支部第二回武徳祭「演武者心得」	大正六年改正 大日本武徳会愛知支部武術講習規程	牧野秀著『剣道修業乃栞』第八章「竹刀」	民間道場の武術―杉山盡心館規則―	大日本武徳会愛知支部沿革	大日本武徳会愛知支部武徳館建築図 説明	県下武術家を網羅―日本武術名家伝―	警察と撃剣―撃剣初試合番組―	
	一九二七年(昭和二)十月三十一日……………	一九二二年(大正十一)十一月十九日……………	一九一七年(大正六)七月……………	一九一六年(大正五)十二月……………	一九〇七年(明治四十)一月……………	一九〇六年(明治三十九)六月……………	一九〇五年(明治三十八)頃……………	一九〇二年(明治三十五)十二月一日……………	一九〇一年(明治三十四)一月二十日……………	
885	883	881	878	877	874	870	869	861	858	